

小児がん拠点病院の診療実績の概略（H28年度現況報告書より）

	18才以下の初発診断例（H27年1/1～12/31）				長期フォローアップ体制の構築	緩和ケアチームの設置（総人数）	セカンドオピニオンの提供体制
	造血器腫瘍	固形腫瘍	（うち脳・脊髄腫瘍）	（合計）			
北海道大学病院	15	41	16	56	○	○（17人）	○
東北大学病院	14	19	12	33	○	○（34人）	○
埼玉県立小児医療センター	53	30	7	83	○	○（16人）	○
成育医療研究センター	39	54	23	93	○	○（14人）	○
東京都立小児総合医療センター	37	39	17	76	○	○（19人）	○
神奈川県立こども医療センター	37	30	15	67	○	○（13人）	○
名古屋大学医学部附属病院	33	84	23	117	○	○（12人）	○
三重大学医学部附属病院	28	24	10	52	○	○（19人）	○
京都大学医学部附属病院	16	19	4	35	○	○（13人）	○
京都府立医科大学附属病院	8	32	9	40	○	○（37人）	○
大阪府立母子保健総合医療センター	43	25	2	68	○	○（11人）	○
大阪市立総合医療センター	26	31	13	57	○	○（11人）	○
兵庫県立こども病院	48	31	10	79	○	○（9人）	○
広島大学病院	24	35	17	59	○	○（11人）	○
九州大学病院	34	51	6	85	○	○（28人）	○
（H27年小児がん拠点病院合計）	455	545	184	1000			
（参考：H23年合計、H26年合計）	（355、377）	（445、519）	（190、221）	（800、896）			

	診療従事者の配置要件	キャンサーボードの定期開催	院内がん登録の実施	臨床試験・治験の件数	左記以外の臨床研究	相談支援センターの設置（1年間の件数）	保育士の配置（人数）	家族等が利用できる長期滞在施設
北海道大学病院	○	○	○	16	13	○（177件）	○（2人）	○（全8室）
東北大学病院	○	○	○	20	5	○（1567件）	○（6人）	○（全18室）
埼玉県立小児医療センター	○	○	○	23	13	○（709件）	○（11人）	○（全5室）
成育医療研究センター	○	○	○	16	2	○（512件）	○（9人）	○（全21室）
東京都立小児総合医療センター	○	○	○	40	20	○（1090件）	○（13人）	○（全12室）
神奈川県立こども医療センター	○	○	○	18	19	○（437件）	○（17人）	○（全8室）
名古屋大学医学部附属病院	○	○	○	10	11	○（573件）	○（3人）	○（全12室）
三重大学医学部附属病院	○	○	○	24	7	○（403件）	○（1人）	○（全6室）
京都大学医学部附属病院	○	○	○	32	9	○（1269件）	○（3人）	○（全37室）
京都府立医科大学附属病院	○	○	○	107	16	○（134件）	○（8人）	○（全5室）
大阪府立母子保健総合医療センター	○	○	○	6	2	○（108件）	○（15人）	○（全12室）
大阪市立総合医療センター	○	○	○	26	0	○（387件）	○（6人）	○（全8室）
兵庫県立こども病院	○	○	○	20	8	○（265件）	○（6人）	○（全16室）
広島大学病院	○	○	○	23	5	○（87件）	○（20人）	○（全11室）
九州大学病院	○	○	○	20	0	○（562件）	○（2人）	○（全9室）

	チャイルド イフスペシャ リストの人数	小児科領域に 専門的知識を 有する臨床心 理士の人数	小児科領域に専 門的知識を有す る社会福祉士の 人数
北海道大学病院	0	2	1
東北大学病院	1	2	2
埼玉県立小児医療センター	2	8	6
成育医療研究センター	3	16	7
東京都立小児総合医療センター	0	15	6
神奈川県立こども医療センター	0	9	5
名古屋大学医学部附属病院	3	4	2
三重大学医学部附属病院	2	2	2
京都大学医学部附属病院	0	2	1
京都府立医科大学附属病院	0	1	2
大阪府立母子保健総合医療センター	2	13	6
大阪市立総合医療センター	1	5	2
兵庫県立こども病院	0	3	3
広島大学病院	2	2	0
九州大学病院	2	1	1

	長期フォローアップ外来・移行期医療の状況
北海道大学病院	週5回。内分泌・神経障害の確認、移植後フォローアップを実施。治療終了10年以上経過、あるいは20歳以上では成人科へ移行する方針。
東北大学病院	週2回の長期フォローアップ外来の中で内分泌・循環器外来とも連携。移植後フォローアップ外来(月4回)も実施。
埼玉県立小児医療センター	現時点では造血幹細胞移植後患者のみを対象、今後その他の患者についても対応予定。20～30歳の間で成人科へ移行する方針。
成育医療研究センター	週5回。治療施設、治療内容に関わらず小児がん経験者を対象に、腫瘍科医長、医員、専任看護師、臨床心理士でフォローアップ外来を担当。
東京都立小児総合医療センター	週1回、脳腫瘍長期フォローアップ外来もあり。12歳頃から移行外来を受診し、隣接する医療機関と連携し、20歳までに成人科へ移行。
神奈川県立こども医療センター	今年度から済生会横浜市南部病院へのフォローアップ移行を開始。今後、神奈川県立がんセンターとの移行期医療協議会を開催予定。
名古屋大学医学部附属病院	院内各科、紹介元の地域基幹病院、名古屋医療センターの長期フォローアップ外来(血液腫瘍患者)との紹介連携を行っている。
三重大学医学部附属病院	小児がんの専門医が原則として週1回、20歳以降の小児がん経験者の診察を行い、必要に応じて成人科への紹介を行っている。
京都大学医学部附属病院	週1回、成人の診療科と小児科が合わさって診療に当たっている。また多職種による心理面でのフォローアップも実施。
京都府立医科大学附属病院	小児医療センターに設置された長期フォローアップ外来で、成人科との連携の下で実施。初診から現在までの診療録を地域の施設間で共有。
大阪府立母子保健総合医療センター	治療終了から5年経過した患者を対象に長期フォローアップ外来に移行。問題がない場合は年1回の受診として、地域で基本的にフォロー。
大阪府立総合医療センター	週1回の長期フォローアップ外来で、MSWIによる問診、小児科医による診察、多職種カンファを行い、後日に看護師が支援方法等を家族に連絡。
兵庫県立こども病院	血液腫瘍内科を中心とした長期フォローアップ外来(月1回)。内分泌科とは毎月症例検討を行い、院外連携も実施。
広島大学病院	小児血液専門医を中心に多職種連携による長期フォローアップ外来(週2回)。成人移行症例は内科や地域のかかりつけ医と連携。
九州大学病院	小児科・小児外科で長期フォローアップ外来を実施。内分泌・心臓・神経・腎臓グループとも連携。遠方の患者には情報提供した上で連携。